

令和2年1月例会 天狗山(392m) 備前市

実施日 2020(令和2)年 1月22日(水)

天候 曇り

参加者 C L 三村 S L 桑野 神山

山田 小林陽 船越 近藤嗣 山本廣 小林宮 山本和 山本信 井上 秋山 佐藤綾
山本百 小林東 藤川豊 藤川神 水畑 永谷 岡野 喜多 墨江 小田 佐々木 高井
梶原 伴野 真野 前田 (30名)

行程 登山口(10:00) → 休憩(10:40~10:45) → 370mピーク(11:15) →
天狗山頂上(11:30~12:20) → 三ツ池(奥地)(13:20~13:25) → 成林林道(14:00) →
寒河コミュニティセンター(14:20) → 登山口 閉会式(14:25~14:35) 解散

概要 JR赤穂線寒河駅で下車、8分ほど歩くと八幡宮前広場。開会行事を行って、参加者30人を3班に分けS L 神山さんを先頭に登山開始。いきなりの急登道。この急登を過ぎると左右の視界が開け、振り返ると日生諸島が見えてくる。天気は下り坂、雲が多い、何とか



下山までもって欲しいと願う。小天狗370mピークを過ぎて尾根沿いに歩くと天狗山頂上。360度の展望。南には瀬戸内海が見え遥か遠くに小豆島。天狗山は江戸時代中期から大正時代初期まで、大阪の米相場の伝達、中継のため旗振りをしていた山。山田副会長から参考資料を配布して当時の様子を説明していただいた。

昼食を取り下山開始、滑りやすい急な下り坂が続く、シダ、野イバラがからみ足元は大変。アップダウンの縦走を繰り返すと三ツ池に出る。三ツ池は瑠璃色で、奇麗との声があがる。三ツ池からは沢沿いに沢ギリギリに下る。「低山でも中々のアップダウンの縦走があり、沢沿いの下りもあって、おもしろかった」との声も聞かれた。下山後、閉会行事を行い解散した。最後まで天気がもって来て感謝。希望者は、駅前のカキオコを食し、大満足でした。



下山後、閉会行事を行い解散した。最後まで天気がもって来て感謝。希望者は、駅前のカキオコを食し、大満足でした。(三村記)